

7月2日 半夏生

昨日は半夏生。うちの夕餉はたこ焼きだった。以前、東京出身の義理の姉が遊びに来たときに、我が家のたこ焼き器を見て驚いていた。義姉にとっては、たこ焼きはおやつとして買って食べるもので、うちにたこ焼き器があって、おまけに“ご飯として食べる”なんて理解できなかったのだろう。

さて、半夏生にはたこを食べる習慣がある。この時期に田植えを終えた農家の人たちが、「苗がたこの八本足のようになり根付くように」と願い、食べたことに由来する。

理科のA先生によると、「たこにはタウリンという疲労回復に効果がある成分が含まれていて、この時期に食べるのは農作業の疲れを癒やすという先人の知恵でもある」と、私が尋ねもしないのに力説してくれた。タウリンといえば栄養ドリンクに含まれている成分である。関西のおばちゃん元気なのはたこ焼きのおかげなのかもしれない。

この時期に葉の一部を白色に変える「半夏生」という植物がある。半分おしろいを塗ったようになることからこの名がついた。残念ながら緑豊かな本校でも見つけることができなかった。機会があれば写真に収めて拙文に添えたい。

